

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	サービスセンターいとまち		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 13日		～ 令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 13日		～ 令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会体験を充実させることで社会のルールを学ぶきっかけ作りをしている。	外部の人とのかかわりから（地域の老人会の人たちとの交流、トランポリン教室、職場体験等）学ぶ機会が提供できるような活動内容を企画している。	今年度、保護者に「体験させたい活動について」のアンケートを取り、来年度講師を招いて「音楽教室」を実施する。
2	子どもたちのアセスメントを積極的におこない、子どもと保護者のニーズや課題を分析し、計画書につなげている。	なるべく職員全員の意見等を聞き、職員全員が共通認識をもって支援を行っている。	子ども自身のニーズの把握をもう少し丁寧にしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	男性職員がいないため、同性介助が必要な活動が難しい。	給与面なのか、何が原因なのか探る必要がある。	法人全体の課題で、男性職員、若手職員が少ない。今後、法人として継続していくためにも考えていかなければならない課題である。
2	保護者に向けての支援（研修の機会や情報提供等）が弱い。	子どもたちの支援に対しては、研修等によって日々勉強しているが、保護者に対しての支援を学ぶ機会が少ない。	家族支援プログラムなどの研修に積極的に学んでいく必要がある。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名 サービスセンターいとまち

公表日 令和 8年 3月 4日

利用児童数 31人

回収数 24人

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				広くて十分です。	子どもが過ごすには、十分にある広さかと思う。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%				大丈夫です。	配置数については基準を満たしており、基準より多く職員配置をしている。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	92%	4%		4%	いつも快適に過ごしているようです。	施設内はバリアフリーとなっている。部屋は視覚で分かりやすく提示している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				いつも快適に過ごしているようです。	活動場所（読書コーナー、パソコンコーナー等）に合わせた空間にしている。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				いつも配慮してもらっています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	92%			4%		支援プログラムは、インターネット上で公表されていることを周知していきたい。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	96%			4%	よく連絡を取り合っているので大丈夫です。	分かりやすい計画書を作成していきたい。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96%			4%	大丈夫です。	分かりやすい支援内容を設定していきたい。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%				大丈夫です。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	88%	4%	4%		大丈夫です。	固定化しないような活動プログラムを毎年取り入れていきたい。8年度は音楽教室を取り入れる。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	64%		4%	29%	大丈夫です。	毎年度、児童館等に行き地域の子どもたちと交流する機会を設けているが、「いいえ」「わからない」と答えている保護者もいるので、周知の仕方を考えていきたい。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%				大丈夫です。 ある程度は大丈夫ですが、たまに休みの日で使うお金のお金が実際に使った金額と全然違っていったケースがあった。 大丈夫です。	使ったお金の金額は、その都度保護者に口頭もしくは、連絡帳に記載しているが、伝達漏れがあったかもしれないので、今後伝達のし方を考えていきたい。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	67%	12%		24%	年に1回、今年度は年末にうどん作りがあったが参加できなかった。もう少し集まりがあってもいいと思う。	研修会などの情報提供をおこなってきたい。 今年度、初の試みで親子行事（うどん作り）を企画したが、周知のお知らせの期間が短かったので、参加保護者が1名と少なかった。もう少し早く企画し、保護者への周知を早くしていきたい。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				大丈夫です。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%				大丈夫です。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%				大丈夫です。	

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	44%	12%	12%	32%	大丈夫です。	6年度には、トランボリン教室発表会の後、保護者間での茶話会を開催、7年度には、親子行事でうどん作りを開催した。周知の仕方と、来年度は開催頻度を増やしていきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	84%		4%	12%	大丈夫です。	相談があった際には、迅速かつ丁寧な対応を心がけている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	100%				とても丁寧に細やかに発信して下さり、楽しみにみています。インスタ、よく見ております。子どもと一緒に。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%				大丈夫です。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	92%			8%	避難訓練などよくやっているのを見えております。	7年度には、保護者も参加して水書の訓練をした。今後も保護者参加型の避難訓練を実施できたらと思う。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	88%	4%		8%	5月に1回、火災訓練が実施のお知らせあり。大丈夫です。	周知の仕方を考えていきたい。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	96%			4%	大丈夫です。	今後も、安全の確保がされた事業所であるように、日頃から安全確保について職員に周知していきたい。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	96%			4%	すぐに知らせてくれます。	今後も、速やかな連絡と丁寧な説明を心がけていきたい。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%				大好きみたいです。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	92%	8%			いつも楽しみに言っております。行ってしまえば楽しんでいると思います。	「どちらともいえない。」と感じ取っている保護者もいることを真摯に受けとめ、楽しみと思えるような活動等を考えていきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	96%		4%		いつも本当にありがとうございます。大満足です。長期休み、外出などなく施設内のみだったのが残念でした。	どのこどもたちにも外出ができるような活動を考えていきたい。

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		サービスセンターいとまち				公表日	令和8年 3 月 4 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		個室は少ないが、間仕切りを使用する等工夫をしている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		基準より多く職員を配置している。	活動内容によっては、職員が少ないと感じるときがある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		段差をなくし、バリアフリーにしている。また、床をクッションフロアにし、万が一転倒しても怪我につながらる恐れを最小限にしている。	現在、身体に障害のある児童の受け入れが難しいが、受け入れした際には、着替えやトイレ介助をするには狭く感じる。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		活動が終わる度に、職員、利用者で掃除を行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別の部屋を自由に利用できるようにしている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		朝礼、終礼、月1回の全体ミーティングに参加しその中で業務伝達や振り返りを行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		1年に1回、意向等を把握する機会を設け業務改善につなげている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		1年に1回、意向等を把握する機会を設け業務改善につなげている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		理事会において、半年に1回評価をいただいている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修に参加する機会を設けている。また、法人内での研修も年に1回以上設けている。			
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		作成をし、法人内のホームページに記載をしている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		年に1回はアセスメントを行い、保護者および利用児童からニーズや課題を聞き取り、全員参加による検討会を実施している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児発管だけでなく、職員全員で検討会を実施している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		必ず計画の原案会議をし、共有理解を図っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		共通のアセスメントを用いて確認をしている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに沿って支援内容を設定している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		全員参加による検討会を実施しており、その中で出た意見をまとめ、プログラムの立案をしている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		地域の人たちを招いての交流会や外部講師による活動を取り入れるなど固定化しないようにしている。			

支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用者の特性に応じて、個別活動や集団活動を組み合わせた計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前の打合せで確認し、チームで連携し支援をおこなえるような体制を取っている。内容を記録することで、休みの職員が後日に把握できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後の打合せで確認し、チームで連携し支援をおこなえるような体制を取っている。内容を記録することで、休みの職員が後日に把握できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援の記録を取ることを当日もしくは翌日に行い、検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に計画の見直しを行っており、必要であれば、他機関も含めた面談を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		4つの基本活動を組み合わせ支援内容を心がけている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己決定を育てる活動を取り入れるなど工夫をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管だけでなく、利用者の状況を把握している職員も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関と連携し、支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		下校時間等の確認は保護者と行っている。必要に応じて、学校と直接やり取りをしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		入所前に担当者と情報共有を図り、以後においても必要時に情報を得ている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて会議に参加し、情報提供をおこなっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			必要に応じて児童発達支援センターに利用児童の様子を見に行ったりと連携をしていたが、助言や研修を設ける機会はなかった。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の児童館に行き交流する機会を設けている。	放課後児童クラブとの交流する活動が今年度は出来なかった。来年度検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		児童部会に参加し、他事業所と意見交換等を行うことで職員の資質向上につなげている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳での記載だけでなく、送迎時に対面でその日の様子を伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			日頃から保護者に情報共有を行っているが、家族支援プログラムや研修の機会の情報提供を行っていないのが課題である。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		丁寧な説明を心がけており、質問等があれば迅速に対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画の見直しの時期に、意向の確認をとっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画書を提示しながら丁寧な説明を心がけている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談時以外でも相談があれば適切に対応している。		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今年度は保護者参加型の活動（うどん作り）を企画し実施したが、周知の期間が短く参加保護者が少なかった。今後も企画し、周知を早めにし参加保護者を増やしていきたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			第3者委員や苦情受付担当について重要事項説明書で説明している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			定期的なお便りで活動内容をお知らせしている。また、日々の活動の様子をSNSで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			保護者には、外部に向けた利用者に写真や名前に使用を確認している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			利用者にはカード、写真を使うなど構造化を図っており、保護者とは連絡帳や電話で意思疎通を図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			今年度は、地域の老人会の方々との交流する機会を設けた。今後も交流の機会を設けていきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			各マニュアルは策定されており、職員に周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			定期的に訓練を実施し、必要な訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			事前に文面で保護者に記載してもらい、その内容を職員全員で確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			必要な利用者には、医師の指示書を書いてもらい、指示書に従って対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			計画を作成し、訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			事故等がおこった場合の連絡方法について保護者に確認を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ヒヤリハットを職員全員で検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			毎月の全体ミーティングで話し合っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			身体拘束はやむを得ず行う3要素を守り、保護者への説明は支援計画に書かれた内容を基に毎回説明を行っている。		